

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	消化管出血症例における予後不良因子の検討－多施設遡及的研究		
2. 対象患者	以下の期間中、吐血、下血のために上部内視鏡検査、または下部内視鏡検査を弘前大学医学部附属病院で施行した患者様。		
3. 対象となる期間	平成22年 1月 1日 ～ 平成30年 12月 31日		
4. 実施診療科等	消化器内科、血液内科、膠原病内科		
5. 研究責任者	氏名	立田 哲也	所属 大学院医学研究科 消化器血液内科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学講座 飯島 克則		
7. 研究の意義	消化管出血は、内視鏡手技の確立・内視鏡機器の向上により、ほとんどの症例で止血が可能となっています。しかし、近年抗血栓薬の普及、人口高齢化等の影響もあり、消化管出血により予後が不良となる患者様も存在します。そこで、どのような要因が予後不良に寄与しているのかを東北地区の15病院で検討します。		
8. 研究の目的	多施設の消化管出血の結果を診療記録を振り返って検討し、予後不良因子を明らかにすることです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	カルテ情報より対象患者様の止血を要した症例の年齢、性別、Hb値、Alb値、抗血栓薬内服の有無等についてデータを収集し、診療記録を振り返って検討します。収集したデータは代表機関へ提供し、予後不良となる因子について検討します。		
10. 個人情報の保護	公表する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、本研究で取得した情報は本研究以外には使用しません。研究期間中および終了後も個人が特定されないように十分配慮いたします。対象者の方より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外しデータを削除致します。ただし、研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを収集することはできませんのでご了承ください。 データは必要に応じて副次的解析(集めたデータを違う視点から解析すること)を行う事もあります。また、今後行われる同様の研究の比較対照のグループとして情報を二次利用する可能性もありますが、その際には改めて研究の内容について当大学倫理委員会の審査を受けたいうえで情報を呈示いたします。		
11. 利益相反に関する状況	本研究は利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座 立田哲也		
	電話	0172- 39- 5053	FAX 0172- 39- 5946